

ハーモニー



ハーモニーは、調和・一致・和合等を意味します。男女が人間として生き方において、また社会のあらゆる分野における活動において、対等の立場に立って調和してゆこうという意味が込められています。

年1回発行の”ハーモニー“が10号になりました！10年ひと昔、うれしいですね。

社会問題として内容が深い「男女共同参画」ですが、多くの情報から2つの話題を提起します。

先人たちが築いた“女性参政権”。しかし、女性の健康支援に対し従来あったものは1965年の「母子保健法」であり、健康福祉は「母子一体」が国の考えでした。そこで1996年に「優生保護法」を改正し「母体保護法」としました。要望は「女性健康法」であったのですが…。今では女性の活躍推進や少子化対策に欠かせない「女性健康支援法案」が提案される時代になりました。もう1つ、大阪の中学校長が『女性にとって最も大切なことは、子どもを2人以上生むこと、これは仕事でキャリアを積むこと以上に価値があります』と発言し、波紋を広げました。この2つの話題について皆さんはどのように感じたでしょうか。

市民会議では常に社会情勢を視野にいれながら『みんなで作ろう！』をモットーに活動しています。

南魚沼市男女共同参画推進市民会議 会長 豊田春美



《平成27年度ハーモニー活動報告》



- 5月17日 上野千鶴子氏講演会に研修参加（上映会「何を恐れるフェミニズムを生きた女たち」&講演会「リブからの40年、日本の女は変わったか？」）
- 6月6日 総会、会員交流茶話会
- 6月15日 市民会議だより「ハーモニー第9号」発行（全戸配布）
- 7月26日 人権に関する学習会「デートDV予防勉強会」
- 10月11日 八色の森市民まつり出店参加（風船と啓発文入りポケットティッシュ配布で男女共同参画をPR）
- 10月18日 ハーモニー公開講座「災害・イザというときパート3」～防災は日頃から気にかけて～
柏崎市椎谷町町内会長の佐藤正幸さんによる地域防災、原発事故防災の問題点などの講演、
当会の防災グループの「防災マップ」発表、市役所防災庶務班の「1日前プロジェクト」発表
- 3月6日 災害食！調理実習“男女共同参画と防災は切り離せない”
- 3月24日 男女共同参画推進庁内会議（市役所）・市民会議共催の学習会
「共に育つ」～人口減少と地域の役割～ 講師 黒岩秩子さん

《平成28年度ハーモニー活動計画》

- 6月4日 総会、会員交流会（テーマ「孫育て」）
- 6月15日 市民会議だより「ハーモニー第10号」発行（全戸配布）
- 7月上旬 「アオーレ長岡」視察（拠点作りの視察）
- 夏 市役所庁内推進会議との情報交換会議
第3次男女共同参画基本計画について
- 秋 新潟県女性財団の出前セミナーへの協力
テーマ「地域における男女共同参画」
- 秋 人権に関する公開学習会「デートDV予防勉強会」
- 10月9日 八色の森市民まつり出店参加 男女共同参画PR



ハーモニー各種事業報告

平成27年度はこれらの活動を行いました。

◆学習会「共に育つ」～人口減少と地域の役割～

講師：黒岩秩子さん（社会福祉法人 桐鈴会理事長） 平成28年3月24日実施

年度企画の当市庁内会議との情報交換会議を発展させて、共催で学習会を開催（参加者41名）。
“人口減少による消滅する自治体と女性議員の数との関係”のデータから、当市もそのうちにその日が…と問題視しての開催でした。仏国では、県議会選挙は議員数を男女比同数にするために、男女2人1組のペアになった候補者に投票するという奇策で同数にしているという新聞資料の提供もありました。
折よく市では第2次総合計画が策定され、女性活躍の重要性が盛り込まれています。学習会は、結果として平成27年度男女共同参画週間のキャッチコピー「地域力×女性力＝無限大の未来」のキーワードにつながり、「男女共同参画」の意識向上にも一役担う学習会でした。



～会場の意見から～

- ・知人宅で、夫が台所で忙しくしている妻に「オーイ！灰皿」と言った。自分で動けばいいのと感じた。
 - ・家庭で納得できる方法であればいい。料理も弁当も好きだから作る。
 - ・職場として男女差別は感じていない。
 - ・地域づくりでは男が意識変わらないと。
- *などなど、意見交換が盛り上がりました。

◆八色の森市民まつり

平成27年10月11日実施

例年行っていたハーモニー汁（きのこ汁）販売はお休みして、今年は風船と啓発文入りのポケットティッシュ、講演会チラシの配布で男女共同参画のPRを行いました。カラフルな風船は子ども連れの皆さんに大好評でしたが、より関心をもってもらうための工夫が必要との反省もありました。

男女共同参画とは？

女性も男性もすべての個人が、互いにその人権を尊重し、喜びも責任も分かち合いつつ、性別にかかわらず、あらゆる分野でその個性と能力を十分に発揮できることをいいます。



◆ハーモニー公開講座 <災害・イザというときパート3>

～災害は日頃から気にかけて～

平成 27 年 10 月 18 日実施

< I 部 > 講師：柏崎市椎谷町町内会長「地域の会」佐藤正幸さん

日本列島に頻繁に起きる自然災害、さらに原子力災害に対して“イザというとき”サッと対処、行動できるよう日頃から心していたいこと、それは地域の防災取り組みが重要な役割となります。

- ・「幼児、妊産婦、病人など自分一人で避難出来ない人が近所にいませんか?」「通院の病院名は?」…など、具体的な地域の事情をどこかで把握することが大切なこと。
- ・柏崎では原子力防災に対しても情報は定期的に公開する会議の場をもっている。



< II 部 > その 1 市民会議防災グループ

集中豪雨の床下浸水で避難したことがきっかけとなり、町内の防災マップを作ることに話が進む。「小さな町内で災害弱者がこんなに存在していた」ことがわかった。講師の話にも共通するが個人情報に当たる部分はなかなか進まないという苦労話。また毎年更新していかないと古い情報のままになってしまう。これ等は時間かけて信頼を得ていくしかない講師から参考意見がありました。

その 2 市役所防災庶務班から

市報「1 日前プロジェクト」の紹介と“さあ、そのときどうする”と題して想定。

「急に雨が ～ かなり強く ～ 大雨警報発令 ～ 市から避難準備情報発令 ～ 警告 ～
～ 指示 ～ 」 さあ、あなたは「～」の部分でどう行動しますか?

◆災害食！調理実習“男女共同参画と防災は切り離せない”

調理講師：木村多美子さん

平成 28 年 3 月 6 日実施

中越地震や大水害の体験から女性が考えた“にいがた災害食グランプリ”レシピを参考にした調理実習。電気・ガス・水道が停止しても、カセットコンロ・鍋・ペットボトルの水など備えがあれば「ポリ袋」で調理ができる。ポリ袋は鍋・食器代わりに洗い物が出ない、そのまま捨てられる、圧巻!

当日のメニューは「あたたかいご飯・切り干し大根・ひじき・ポテトスナックサラダ・味噌汁」。基本は鍋にお湯を沸かして、食材・調味料をポリ袋に入れ空気を抜いて口を結び、ポリ袋ごと煮る。米はポリ袋で 1 回洗ってから同量の水で基本のようにポリ袋ごと煮る。ポテトスナックにお湯を加え揉むだけでポテトサラダになる。食材は乾物や缶詰を利用。味噌汁は下のレシピのとおり、味噌玉にお湯を注ぐだけで出来上がり。これは災害時だけでなく、一人暮らしの子ども達に応用できると参加者に好評だった。

～参加者の感想～

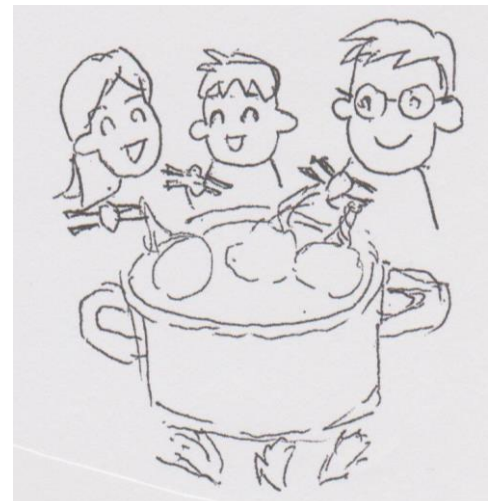
- ・ごはんとおかずがポリ袋で出来て、日常でも応用したり、参考にしたい。
- ・身近な材料で短時間に作れて感動しました。
- ・本当に目からウロコ、意見を出し合って楽しい時間でした。

★味噌玉汁レシピ (材料 1 人分) ★ 味噌玉は冷凍保存可能!

味噌 10g、わかめ少々、鰹節少々 (ここまで A)

さば缶詰少々、車麩少々

1. A を丸めて味噌玉にする。
2. 器に、味噌玉、さば缶詰を入れ、車麩を手でちぎり入れ、熱い湯を 8 分目まで注ぐ。



★活動拠点作りへの取り組み

～いつでも集えるオープンスペース拠点の実現を～

市内に誰でもが気軽に集まり情報交換や勉強をしたり、時には打合せ、コピーやパソコン作業、趣味のサークル活動など多種多様に使えるオープンなスペースがあれば、今以上に多様なコミュニティが活性化するとともに、市民の憩いの場としての居場所や活動しやすい環境になると感じています。

28年度は先進地の長岡市「アオーレ長岡」にある「ながおか市民協働センター」の視察を行い、いつでも気軽に集えるオープンスペース拠点が実現するよう前進していきたいと考えています。

『ながおか市民協働センター』の概要（長岡市とNPO法人市民協働ネットワーク長岡の協働運営）

- ・会議などに使える3つの協働ルームは予約制、ロビーは打合せなどに予約なしで利用可能
- ・団体が使えるロッカー（書類・機材の保管に利用可能、貸出数18団体）、レターケース（メンバー間連絡や、団体宛郵便物・FAXの受け取り場所として利用可能、鍵はない、貸出数60団体）
- ・印刷機（無料、紙は持ち込み、活動誌やイベントチラシなど非営利活動の印刷に利用可能、紙折り機、丁合機、裁断機もある）

ハッピー・パートナー企業になりませんか？

新潟県では、男女がともに働きやすく、仕事と家庭生活などが両立できるよう職場環境を整えたり、女性労働者の育成・登用などに積極的に取り組む企業などを県独自の「ハッピー・パートナー企業」として登録し、その取り組みを支援しています。



《南魚沼市のハッピー・パートナー登録企業15》 H28年4月末現在

医療法人社団 萌気会／社会福祉法人 桐鈴会／高橋建設(株)／(株)我伊野建設／塩沢信用組合／南魚沼市／(株)島田組／魚沼みなみ農業協同組合／桜井建設(株)／医療法人 齋藤記念病院／(有)吉田電気／五十沢建設(資)／社会福祉法人 若葉会／(株)関電気／宮仲開発(株)

つばやき

この度、九州の熊本、大分県で起こった大地震により被災された全ての皆様に、心よりお見舞い申し上げます。中越地震を経験した私達も他人事とは思えません。

3月の当会主催の「災害食！調理実習」に参加しました。ポリ袋でご飯が炊けたり、切り干し大根やひじきの煮物、サラダ等…、救援の手を待っているだけでなく、手元にある物でとっさに温かい料理が出来る事にびっくりポン。

今回の地震が起きた時、テレビのニュースで自衛隊の人達がまさにポリ袋料理を作っていました。突然の災害に襲われた時、共に守り合い、支え合い、自分も負けない、そういう地域の絆を日頃から深めていかなければと、気持ちを引き締めています。



ハーモニー第10号 H28.6.15 発行 編集：南魚沼市男女共同参画推進市民会議（ハーモニー）

事務局：南魚沼市総務部企画政策課 電話 025-773-6672

ご意見・ご感想は、年齢・性別をご記入のうえ、メールで「danjo2011@yahoo.co.jp」まで。